

# 令和 2（2020）年度事業報告書

公益財団法人 日中友好会館

# 目次

〔Ⅰ〕 公益目的事業		
(公1) 青少年交流・教育交流事業	：総合交流部	3
(公2) 寄宿舎施設の運営	：留学生事業部	9
(公3) 中国語及び日本語教育	：日中学院	13
(公4) 文化事業	：文化事業部	15
(公5) 植林・植樹事業	：総合交流部	19
〔Ⅱ〕 収益事業		22
〔Ⅲ〕 その他の事業 会員相互友好事業	：日中友好後楽会	25
〔Ⅳ〕 法人の状況		27

## 〔I〕公益目的事業

### (公1) 青少年交流・教育交流事業 : 総合交流部

2020年度は、中国を対象に、外務省の推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」として年間375名の青少年を招へいする計画であった。

当初、一部事業の受け入れ先調整等を進め、また、人数を縮小しての実施も計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、日中双方で出入国制限が解除されていない等の要因により、年間を通じ、全ての招へい事業が実施できなかった。そこで、招へいによる交流の代わりに、2019年度の「JENESYS2019」事業のフォローアップとしてオンライン交流などを実施した。

また、モンゴルを対象として「JENESYS2020」で予定していた90名の青少年の招へいも全てが中止となった。

なお、外務省は2020年の特殊事情を考慮し、「JENESYS2020」の実施期間を2021年9月まで半年間延長した。

このほか、招へい事業が実施できない状況でも日中青少年の互いへの興味・関心が途切れないよう、会館事業としてもさまざまな工夫を凝らしたフォローアップ事業を企画・実施した。

#### 1. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2020」(対象国・中国) (「JENESYS2019」フォローアップオンライン交流)

前年度に実施した訪日団・訪中団の参加者とその訪問先関係者が、オンラインで再会した。主に各団のテーマをめぐって、追加の質問や新たな発表、帰国後の取り組み紹介、意見交換などを行い、さらに理解を深めた。また、コロナ禍での過ごし方や変化などについても話題となり、率直な交流ができた。

#### 【訪日団フォローアップ】 6件 明細下記

##### (1) 香港・澳門高校生訪日団

実施日		中国側 参加人数	参加者・交流先の構成	協力機関
香港高校生	2021年 2月4日	4	香港高校生 ／奈良県飛鳥地域のホストファミリー(4家庭6名)	香港特別行政区政府教育局
澳門高校生	2021年 1月30日	11	澳門高校生・大学生 ／三重県大紀町のホストファミリー	澳門特別行政区政府 教育暨青年發展局

			ミリー(5家庭8名)	
合 計		15		

2019年12月に招聘した香港・澳門高校生訪日団の学生が、来日時にホームステイをしたホストファミリーと再会した。学生たちの発表ではホームステイ体験の感想や将来の目標などが述べられ、ホストファミリーからはそれに対するさまざまな感想や意見が伝えられた。日中双方の参加者が、ホームステイの楽しかった体験を思い出すことで、将来の目標ややりがいを再認識できたことがうかがえた。

## (2) 中国青年代表団

実施日	中国側 参加人数	参加者・交流先の構成、テーマ	協力機関
12月10日	5	中国農村青年幹部／静岡県掛川市(3名) 『農村振興政策』	中日友好協会

2019年9月に招聘した中国青年代表団のうち、農村青年幹部部分団の団員が、来日時に農村振興政策をテーマとして訪問、交流した静岡県掛川市の関係者と再会した。

団員が、帰国後に行った地域農業の発展や活性化に向けた取り組みや活動、掛川市の取り組みを参考にした事例を発表した。それぞれ、若者のUターン就職やオンライン販売による農村の貧困脱却推進策、観光農業資源の活用など、地域の実情を踏まえた、主体的な取り組みを共有した。また、交流に先立ち、団員から、訪日時に得た知見を自国で生かす中で新たに抱いた疑問を挙げ、それに対し掛川市の関係者は、時代の変化に応じた新たな取り組みや同市の現状を紹介しつつ回答した。

## (3) 第二十四回中国教育関係者代表団

実施	中国側 参加人数	参加者・交流先の構成	協力機関
12月23日	5	中国の小・中・高校の教員／大阪府教育庁(3名)	中日友好協会

2019年12月に招聘した第二十四回中国教育関係者代表団のオンライン交流では、来日時に懇談を行った大阪府教育庁関係者と再会。訪日交流で得た知見や気づきを自らの教育現場で活用してきた団員が、その取り組みを紹介した。中国側が着眼したのは、日本の労働教育、部活動、給食(食育)、奉仕の精神、心のケア等で、コロナ禍の課題解決に訪日の成果を応用した事例も紹介された。大阪府教育庁は、中国側から出されたそれぞれの取り組みの中で生じた質問に対し、評価における技能とモチベーションの扱い、小中一貫校におけるキャリア教育の特徴、労働教育の推進ポイント等についてアドバイ

スしたほか、日中共通の喫緊の課題として、大阪府におけるコロナ禍での教育活動についても紹介した。

#### (4) 中国社会科学院青年研究者代表団

	実施日	中国側 参加人数	参加者・交流先の構成、テーマ	協力機関
第1回	10月23日	5	中国青年研究者／徳島県上勝町(3名) 『生態環境保護』	中国社会科学院
第2回	11月13日	7	中国青年研究者 ／一橋大学経済研究所(4名) 『高齢化社会対策』	
合計		12		

第1回：2019年5月に招聘した中国社会科学院青年研究者代表団第1陣は、「生態環境保護」をテーマに来日時に視察を行った、ゼロ・ウェイスト、彩事業等に取り組む徳島県上勝町関係者と交流した。中国側は、訪日の成果から発展した活動内容、ゴミ分別に関する中国の現状等について発表した。また、訪日後に得た知識や情報を帰国後に報告・活用した中で新たに出た疑問を挙げ、上勝町の関係者はそれに回答するとともに、新型コロナウイルスの影響による問題や新たな取り組みなど、町の現状についても発表した。

第2回：2019年10月に招聘した中国社会科学院青年研究者代表団第2陣は、来日時に「高齢化社会対策」をテーマとして、社会保障制度や世代間問題等についても研究を進める一橋大学 経済研究所の研究者らと交流を行った。訪日時と同テーマで、日中双方より、更に聞きたい内容や、高齢者をとりまく社会において新たに生じた質問を提出し合い、訪日時より踏み込んだ交流を行った。双方が、相手国の高齢者施策の動向や支援制度、その根底にある価値観などを理解する上で有意義な交流となった。

#### 【訪中団フォローアップ】 1件

##### (1) 日本青年研究者訪中団

実施日	日本側 参加人数	参加者・交流先の構成、テーマ	共催機関
10月12日	6	日本青年研究者／中国社会科学院日本研究所(6名) 『日中関係の現状と協力の見込み』	中国社会科学院

2019年7月に、中国社会科学院日本研究所の招待により派遣した日本青年研究者訪中団は、派遣時、中国社会科学院日本研究所と「日中関係の現状と協力の見込み」をテ

マとした学術交流を行っており、今回のオンライン交流でも同テーマに関し、参加者のうち日中各4名が、それぞれの専門分野の観点から発表した。主な内容は、日中間の外交や政治の課題、コロナ時代の国際情勢や日中学術・伝統文化交流、高齢化・デジタル社会における日中の連携など多岐にわたり、メディアの情報からだけでは知り得ない、研究者ならではの知見を共有することができた。

## 2. その他オンライン交流 ※会館事業として実施

### (1) 日中大学生再会オンラインカフェ

実施日	参加人数	参加者・交流先の構成、テーマ	共催機関
11月17日	中国側11名 日本側5名	「日中植林・植樹国際連帯事業」2019年度中国大学生訪日団第1陣の団員／中央大学の学生 『大学生オンライン授業の現状と問題点』 『中日の家庭の主婦の現状とそれについての若者の考え』 『日中の若者文化の比較』	中日友好協会

中国側参加者は2019年度に来日した日本語を学ぶ大学生で、日本側参加者は、その際中国大学生を受け入れた中央大学の大学生。日中混合の3グループに分かれ、学生による司会進行の下、事前にグループ内で相談して決めたテーマに基づき、日本語でディスカッションを行った。大学生ならではの視点から、テーマにまつわる日中の最新情報のほか、コロナ禍における生活様式の変化やそれに対する各人の考え方等、さまざまな意見を出し合って活発な議論を行い、その後のプレゼンテーションでは各グループの代表者がその内容をまとめ、全員に発表した。質疑応答では率直な意見交換が行われ、日中間のさまざまな相違点、若者同士で相通ずる考えや意見などをお互いに理解し合った。

### (2) 第3回日中大学生対話(オンライン交流)

実施日	参加人数	参加者・交流先の構成、テーマ	共催・協力機関
2021年 3月17日	中国側12名 日本側12名	中国大学生(吉林省、雲南省、湖北省) ／日本大学生(東京都、宮城県、京都府、大阪府、兵庫県) 『普及したオンラインコミュニケーションで、私たちは何を生み出せるか』 『日中の若者の結婚観の相違について』 『情報があふれ、真偽の見分けにくいネット時代をどう生きるか』	中日友好協会 (協力： 日中学生交流連盟、 後援：朝日新聞社)

日中大学生対話は、「日中植林・植樹国際連帯事業」による中国大学生友好交流訪日団（地方間交流）の活動の一部として2018年度に実施が始まり、過去2回、日中大学生が一堂に会してテーマに基づきディスカッションを行ってきた。3回目となる今回は、対面での交流が難しい状況にあるため、初めてオンラインで実施した。

参加者は日中混合の3グループに分かれ、それぞれのグループテーマについて、率直かつ活発な議論をした。その後、各グループの代表者が参加者全員に向けて懇談の成果を発表。オンラインコミュニケーションのメリット・デメリットや、日中大学生の結婚観の共通点と相違点、ネット時代において必要な自身で考える力や日中交流の継続の重要性等について意見が上がり、それを受けて質疑応答と意見交換を行った。各グループ内で事前に連絡先を交換し準備を進めていたこともあり、当日には日中大学生の仲が深まっている様子がうかがえた。

### (3) 日中メディア対話会

実施日	参加人数	参加者・交流先の構成、テーマ	共催機関
12月17日	中国側21名 日本側9名	新聞・通信、テレビなどメディア関係者 『ポストコロナにおける日中協力のあり方』 『日・米の政権交代を踏まえての日中関係の行方』	上海外国語大学日本研究センター、 シンクタンク鍵叡、 宮本アジア研究所

2019年12月に「日中植林・植樹国際連帯事業」で招聘した中国メディア訪日団の一環として開催した「日中メディア対話会」に続く日中メディアの交流活動として実施した。テーマを午前・午後で分け、日中のメディア関係者がそれぞれ5名ずつ発表を行い、その後自由討論を行った。日中のメディアは求められる役割が異なるが、幅広く自由闊達かつ未来志向の討論を行うことができた。

## 3. その他フォローアップ

### (1) 日中大学生インタビューリレー

実施日	参加者・実施内容等	共催機関
8月31日～10月26日 (ホームページ公開日)	2019年に実施した「第2回日中大学生500人交流」の参加者 日中の大学生3名ずつ8組、計24名が、質問と回答をメールによるインタビュー形式でリレーした。 会館ホームページ及び会館だよりに掲載。	中日友好協会

コロナ禍でも日中の草の根交流を止めることがないようにと、会館が企画、中日友好協会と共催で実施した。学生の間でやり取りされた質問内容は、就職活動や卒業後の進路、

大学入試の方法、サークル活動について等の学生生活や若者の意識・考え方に関することから、文化、社会に関することなど多岐にわたり、日中の大学生それぞれから率直な回答が寄せられた。

### (2) 日中青少年交流「訪日団参加者からのメッセージ」

実施日	参加者・実施内容等
11月6日 (ホームページ公開日)	これまで実施してきた日中青少年交流のうち、中国の訪日団と日本側受入参加者の交流の様子を、「高校生の交流」「大学生の交流」「ホームステイ」の三つのカテゴリーに分け、参加者の感想文と写真で再現した動画を作成した。会館ホームページで公開。

### (3) 日中青少年交流事業「参加者のその後のストーリー」

実施日	参加者・実施内容等	協力機関
11月13日～ (ホームページ公開日)	日中青少年交流事業の過去の参加者が、訪日をきっかけに、その後どのように日本と関係を保ち、どのような未来を歩んでいるのか、メールまたは対面でインタビューを実施した。 会館ホームページ及び会館だよりに掲載。(第1回～第11回。2021年度も継続)	中日友好協会

過去(2008年～2019年)に実施した日中青少年交流事業参加者のその後(現在)の様子を紹介し、事業の効果をPRすることを目的として実施した。訪日事業参加を機に日本に留学・就職した、日系企業や中日友好協会に就職した、日本と直接関わりのある仕事をしているわけではないが、訪日時に知り合った日本人と連絡を取り続けている等、さまざまな好事例を収集・発信することができた。



## (公2) 寄宿舍施設の運営 : 留学生事業部

中国留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」及び「後楽寮研修棟」がある。「後楽寮」には203室(1階～3階)、「後楽寮研修棟」には34室(後楽ガーデンホテル2,3階)がある。

### 1. 後楽寮入退寮状況

#### (1) 資格区分別入退寮者数

	2020年4月1日 時点の在寮生数	2020年度		2021年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	113	48	78	83
単位公派	21	1	18	4
自費学生	16	5	10	11
華僑学生	1	0	0	1
合計	151	54	106	99

\* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

\* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

\* 自費学生は大学院正規課程生(修士課程・博士課程)

#### (2) 男女別入退寮者数

	2020年4月1日 時点の在寮生数	2020年度		2021年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	92	32	70	54
女子	59	22	36	45
合計	151	54	106	99

### 2. 後楽寮研修棟入退寮状況

#### (1) 資格区分別入退寮者数

	2020年4月1日 時点の在寮生数	2020年度		2021年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	14	1	14	1
単位公派	7	0	7	0
合計	21	1	21	1

\* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

\* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学

## (2) 男女別入退寮者数

	2020年4月1日 時点の在寮生数	2020年度		2021年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	13	0	13	0
女子	8	1	8	1
合計	21	1	21	1

## 3. 開館以来の入退寮状況

「後楽寮」は1985年4月に、また「後楽寮研修棟」は1988年4月に開設された。それぞれ満35年および32年が経過したが、その間の入退寮者の総数「2021年3月末現在」は下記表の通り。後楽寮を退寮された寮生は工学、医療、文化などの各方面にて活躍中。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大より、入国制限がかかった影響で年間の入寮生数は55名に留まった。

	入寮数	退寮数
後 楽 寮	4,141	4,043
後楽寮研修棟	1,081	1,079
合計(人)	5,222	5,122

## 4. 後楽寮修繕・改修工事

### (1) 主な修繕・改修工事

- ・1F サッシュガラス交換工事 (5月)
- ・2F 男子トイレ洗面台自動水栓交換工事 (5月)
- ・1F 通路防火戸・煙感知器交換及び受信盤診断工事 (6月)
- ・1F ゴミ庫出入口扉メカニカルテンキー用電気錠交換工事 (6月)
- ・B1F 厨房排水トラップ交換工事 (7月)
- ・B1F 厨房冷蔵庫修理 (7月)
- ・1F サッシュレバーハンドル交換工事 (8月)
- ・B1F 厨房ガス警報器交換工事 (8月)
- ・B1F 厨房グリーストラップ蓋改修工事 (10月)
- ・B1F 厨房入口前煙感知器交換 (10月)
- ・厨房排水トラップ漏水修理 (12月)
- ・エコキュート加圧ポンプ更新 (2月)

## (2) 寮内環境改善工事

- ・1～3F シャワー室換気扇交換工事（4月）
- ・1～3F シャワー室シャワー設備交換工事（4月）
- ・1F 東側給湯室混合水栓交換工事（5月）
- ・120室及び145室プリーツ網戸交換工事（8月）
- ・後楽寮1～3F シャワー室改修工事（10～11月）

## (3) 定期点検

- ・受付遠隔システムの点検（4月）
- ・厨房内ガス漏れ点検（5月）
- ・後楽寮消防設備点検（6月）
- ・後楽寮研修棟消防点検（6月）
- ・後楽寮電気設備年次点検：年1回定期（11月）
- ・後楽寮・後楽寮研修棟消防点検（12月）
- ・ダムウェーター点検（年4回）

## (4) 定期清掃

- ・粗大ごみ処分（年2回）
- ・中庭植栽剪定（年2回）
- ・居室のフィルター交換（毎年2回、研修棟は年4回）
- ・寮地下1階ワックス清掃（年3回）
- ・居室の消毒（年3回）
- ・窓ガラス清掃（隔月）
- ・居室シーツ交換（月2回）
- ・給湯室・トイレ・シャワー室等共用部清掃（週5日）
- ・後楽寮研修棟排水管高圧洗浄（9月）
- ・後楽寮排水管高圧洗浄（10月）
- ・布団交換（寮・研修棟共11月）

## 5. 活動実績

### (1) 寮内行事

- ・本年度も9月27日に国慶節祝賀会、2月4日に春節祝賀会を開催。後楽寮の2大祝賀会は後楽寮の自治組織である寮生委員会主催による行事であるが、新型コロナウイルス感染防止のため、本年度は無観客で行い、内容を録画、後日YouTubeにて配信するなど例年ではない形で実施。会館は今年もこの2大祝賀会を支援。
- ・新入寮生懇親会は11月と4月の2回開催。本来であれば毎回会館役職員と新入寮生

で懇親会を行うが、本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、懇親会は行わず、「新入寮生歓迎・説明会」と名前を変更して開催。

## (2) 寮外行事

- ・本年度に予定していた各区日中友好協会との交流会、長野県日中友好協会・日中加須市民会議とのホームステイ、藤沢市観光協会主催の体験交流会、毎年参加している文京区国際交流フェスタ、留学生事業部主催のスキー体験教室など、後楽寮ならではの交流会・見学会・体験教室など、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりすべて中止。

## (3) 後楽会（中国）友好联谊会

- ・設立9周年を迎えた後楽会（中国）友好联谊会も本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で会の活動と毎年11月に行っている年次総会は中止。

## (公3) 中国語及び日本語教育 : 日中学院

### 1. 全体の活動状況

入学式(中止)、授業開始(5月8日オンラインにて)、卒業式(2021年3月15日)  
学院報 541~546号(5、6月休刊、10月より3ヶ月毎の季刊号)

### 2. 学科状況

本年度、日中学院の在籍者数

	定員	2021年3月	2020年3月	2019年3月
本科1年	40(2)	14(1)	14(1)	19(1)
本科2年	40(2)	10(1)	13(1)	13(1)
本科研究科	20(1)	4(1)	2(1)	1(1)
日本語科1年	40(2)	0(—)	19(1)	22(2)
日本語科2年	40(2)	18(1)	17(1)	22(1)
日本語科10月生 1年	20(1)	14(1)	6(1)	20(1)
日本語科10月生 2年	—	5(1)	18(1)	15(1)
別科 夜間講座		71	111	165
別科 昼間講座	—	228	360	371
別科 文化講座	—	9	12	12
合計		373	572	660

※ ( ) はクラス数

### 3. 各科活動状況

#### (1) 本科

##### ①2020年度卒業生数

本科 7名 本科研究 2名

##### ②2020年度の主な行事

日本語科との合同合宿(中止)、朗読大会(7月21日)文化祭(10月31日)、  
合同弁論大会(2月4日)

##### ③公開講座 8月29日、11月14日、1月30日にオンラインにて実施

##### ④中国短期研修 中止(派遣先: 中国人民大学)

##### ⑤進路指導

・2年生進路面接 6月、9月

- ・ 本研学生の個人面談            6月、9月
- ・ 進路懇談会                    中止

## (2) 別科（付帯教育）

- ① 公開無料講座 年間 13 回（17 クラス）開講
- ② 朗読大会 中止
- ③ 日本語科留学生との昼食交流会 中止
- ④ 短期留学 中止（派遣先：天津外国語大学）

## (3) 日本語科（専門課程）

- ① 卒業生数 12 名（内 1 名修了）
- ② 2020 年度の主な行事  
 本科との合同合宿（中止）、別科との昼食会（中止）、ホームステイ（中止）、バスハイク（中止）、10 月生入学式（中止）、文化祭（10 月 31 日）、小石川庭園見学（中止）、国会見学（中止）、春節パーティ（中止）、合同弁論大会（2 月 2 日）、
- ③ 進路指導 進学説明会（中止）、個人面接（12 月 4 日）

## 4. 日中学院評議会

開催日時	場 所	議 事 事 項
第 40 回 2021 年 2 月 15 日（月） 午後 1 時～2 時 30 分	日中学院	〔議事〕 ① 2021 年度日中学院活動計画について ② 2021 年度日中学院収支予算について ③ 学院長交代について

## (公4) 文化事業 : 文化事業部

《2020年度の文化事業》

主催事業：合計4件、会館美術館での貸美術館催事：合計3件

### 1. 主催事業 (2020年4月～2021年3月)

#### (1) 主催展「～100枚の写真で旅する！～ 中国世界遺産」

会期：2020年7月15日(水)～8月5日(水)

来場者数：1403人(19日間・1日あたり74人)

25名の写真家の作品を通して中国の世界遺産の魅力を一堂に見ることができる展覧会。中国はイタリアと同率1位の世界遺産大国であり、2020年時点で文化遺産37件、自然遺産14件、その両方の要素を兼ね備えた複合遺産4件、合計55件に上る。

大型写真パネルによる立体展示、兵馬俑の顔出しパネル、世界遺産のストーリー紹介など、創意工夫を重ねた結果、開館時間を平常時より2時間短縮したにも関わらず、予想を超える来場者を迎えることができた。アンケート調査では展覧会の感想として「良かった」「まあまあ良かった」が99.4%を占めた。また、コロナ禍で来場を控える方も多かったと想定され、会期終了後にTwitter上で二次的な展覧会を開催し、大きな反響を呼んだ。

来場者アンケートには以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・中国の世界遺産の魅力を肌で感じられますね。
- ・新たな中国の魅力を知ることができた。勉強になった。
- ・旅行気分を味わうことができた。
- ・とても綺麗な景色や建物が多く展示しており、楽しい時間を過ごせました。
- ・どの景色もすばらしく、実際に行ってみたくなりました。
- ・中国にはまだまだ行ったことのない魅力的な世界遺産があることを強く感じました。コロナが収束したら、また中国に行きたいです。

#### (2) 第30回中国文化之日展覧の部「～色褪せない墨の美～日中友好会館所蔵中国書画展」

会期：2020年9月26日(土)～10月18日(日)

来場者数：996人(20日間・1日あたり50人)

当会館所蔵の各種団体や個人による寄贈品およそ300点の中から、中国トップクラスの啓功、沙孟海、費新我、関山月、呉作人などの書画家の秀作40点を厳選した展覧会。

作品選定からキャプション作成まで、中国書画家、中国古典学研究者、日本語学研究者など日中双方の専門家に加わっていただくことによって、展覧会の専門性を高めつつ、分かりやすさも担保することができた。また、コロナ感染防止対策を講じて、在日中国書画家によるギャラリートークを計3回開催。来場者の作品に対する理解を深める場となった。

また、日中友好会館美術館の過去の展覧会ポスターを一堂に集め、日中友好会館美術館のあゆみと展覧内容の多様性をPRするコーナーを設け、第30回の節目にあたり会館の文化事業の取り組みをより多くの人に知ってもらうことができた。コロナと台風の影響で来場者数は伸び悩んだが、アンケート調査では展覧会の感想として「良かった」「まあまあ良かった」が99%を占めた。

来場者アンケートには以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・魅力的な作品に出会えた。
- ・中国に親しみが持てるようになった。
- ・展示内容が良かった。
- ・歴史や文化を知るよい機会となった。

### **(3) 第30回中国文化之日公演の部「～優美と躍動のコントラスト～二胡と和太鼓の共演」**

会期：2020年10月15日(木)より配信スタート

視聴者数：2021年5月11日現在時点、日本ではYouTubeの視聴回数は10.5万回；中国ではSNS(WEIBO)の視聴回数は11万回(投稿の閲覧回数は45.3万回)

中国の二胡奏者と日本の和太鼓奏者のコラボによるオンラインコンサート(無料配信)。

コロナの影響で中国から公演団を招聘できない中であって、日中文化交流を深める方法を検討し、在日華僑アーティストを代表する二胡奏者ウェイウェイ・ウー(巫謝慧)氏と和太鼓の第一人者ヒダノ修一氏による日中のコラボレーションコンサートを企画した。

本公演の映像には中国、日本、欧米の名曲(各4曲)の演奏と日中友好会館の紹介、出演者の日中文化交流への思いを語る対談などを収録。日本に限定せず、中国でも同時配信し、両国の国民に文化交流の素晴らしさを伝えることができた。〈YouTube〉と〈WEIBO〉では現在も引き続き動画無料配信中。

例年、公演の部の来場者は高齢者層が大半を占めるが、今回、オンライン配信というチャレンジにより、日中両国とも20代～30代の視聴が最も多い結果となった。

視聴者から以下の声が寄せられた(一部抜粋)。

- ・二泉映月、素晴らしい！感動しました。有り難うございます。
- ・とても感動しました。二胡や和太鼓の無限の可能性を感じる素晴らしい演奏でした。
- ・コンサート最高でした！コロナの影響で憂鬱な毎日ですが、元氣と勇氣をもらえる、あ



っという間の1時間でした。

- ・ドラマ JIN のテーマソングが大好きなので、リピートします！あと日中友好会館、中国文化之日もますます知りたくなりました。美術館にも行ってみたいです。

#### (4) 主催展「四川省でみつけた 線が織りなす美しい手仕事」

会期：2021年3月19日（木）～4月11日（日）

来場者数：1757人（21日間・1日あたり84人）

本展は、四川省の国家級無形文化遺産に指定されている多彩豊富な手仕事の中から道明竹工芸、成都銀糸工芸、蜀錦、閬中シルク絨毯の4ジャンルに絞り、作品を厳選展示した。

本展は当初1月開催の予定であったが、広報開始直後、緊急事態宣言発令により会期延期を余儀なくされ、宣言解除後に新たな会期で仕切り直しとなった。SNSを中心に適時に会期変更の告知を行うことで大きな混乱はなく、また、広告とイベント開催時期を工夫し集客の山をうまく分散させることができた。

本展の成果として、会期中に変面ショーや琵琶演奏会のイベントを計5回実施したほか、館内の中国料理店とタイアップした“マラーフェア”などを通して、来場者に四川省の魅力を多角的に紹介出来た点が挙げられる。また、「手仕事」というキーワードの起用、女性を意識した吸引力の高いチラシデザインによって、30～40代女性という新規層の獲得と来館者層の若返りを同時に実現することができた。また、コロナ禍前とまではいかないが、種々の工夫により、2020年度の他催事に比べて来館者数を大きく伸ばすことができた点も特筆したい。アンケートによる本展覧会の印象も、「良かった」「まあ良かった」が100%を占め、満足度の高いものであった。

来場者アンケートには以下の声が寄せられた（一部抜粋）。

- ・年初から楽しみにしていた展覧会でした、期待以上の内容で感動しました。
- ・料理でしか馴染みのなかった四川省の新しい魅力を知った。
- ・日本国内で精緻な工芸（特に織物）を鑑賞できる機会は少ないので興味深かったです。
- ・現地へ行かなければ触れる機会の少ない、優れた工芸を見られた。
- ・今は行けませんが、是非本場の工房を訪問したくなりました。
- ・どれも初めて見ましたが、職人さんの細かい手仕事がとても見事で感動しました。
- ・普段見ることのできない工芸品を見せていただきました。旅行に行けないこのご時世に、気持ちは四川旅行しているようでした。また素敵な企画を楽しみにしています。

## 2. 貸美術館展覧会実績（2020年4月～2021年3月）

	展覧会名	会期	主催
1	～無音・沈黙の始まり～鄒皓雲個展	11月5日～11月10日	鄒皓雲（武蔵野美術大学卒業生）
2	亜細亜現代美術展（2020） 日中韓美術交流展	12月5日～12月10日	一般財団法人 亜細亜美術協会
3	～3名の美術評論家が推す2020 注目作家展～第6回美の視点	12月18日～12月21日	美術の杜出版株式会社

## (公5) 植林・植樹事業 : 総合交流部

2015年度補正予算により、実施が決定した「日中植林・植樹国際連帯事業」は、①「中国における植林事業」、②「日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業」、③「第三国での植林・植樹事業」の3つの柱からなり、2016年以降、会館は②「日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業」を実施してきた。

①「中国における植林事業」及び③「第三国での植林・植樹事業」については、日本側において事業の実施方法を見直し、中国側とも必要な調整を改めて行った結果、今後推進するための環境が整うこととなった。これに伴い、公益目的事業として、「植林・植樹事業」を始動した。

①「中国における植林事業」及び③「第三国での植林・植樹事業」は、日本のNGO等民間団体や地方自治体が対象国の現地団体と協力して実施する事業に対する助成事業と会館が主体となり現地関係機関と協力し事業を計画、実施する事業に分かれる。2020年度は、15件の助成を決定したほか、中国において2件の会館が主体となり実施する事業を開始した。

なお、②「日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業」で計画していた2,725名の招へい事業（日中両国以外の第三国・地域の出身者の参加も含む）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、予定していた全ての事業が中止となった。

### 1. 中国における植林事業、及び第三国での植林・植樹事業

#### (1) 助成事業

日本のNGO等民間団体や日本の地方自治体が対象国内の団体と協力して実施する植林事業に対する助成事業。中国及び主に東南アジアを中心とする日中両国以外の国・地域（第三国）を対象とし、対象国内の砂漠化防止、水害防止、熱帯林再生、その他環境の保全・回復や防災等に資するような植林事業に助成する。助成対象には現地での植林活動への日本からの参加者の派遣を含む。

2020年度は、2020年12月21日から2021年1月22日の間に公募を行った結果、計18件（中国13件、第三国5件）の応募があり、審査委員会等による審査を経て、計15件（中国12件、第三国3件）に対し、総額1億2,075万5,000円の助成を決定した（事業実施期間は2021年3月からの1年間）。

助成団体及び助成金交付対象事業は以下のとおり。

【2020 年度日中植林・植樹国際連帯事業による助成事業】

	団体名	対象国	交付対象事業
1	認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク	中国	河北省蔚県における緑化協力事業
2	認定特定非営利活動法人 黄河の森緑化ネットワーク	中国	内モンゴルオトカ前旗における砂漠化土地の植林緑化事業
3	特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会	中国	中国洛陽市新安県石井鎮生態防護林事業（2021 年度）
4	特定非営利活動法人 世界の砂漠を緑で包む会	中国	内モンゴル自治区アラシャン盟砂漠化防止事業
5	一般社団法人 国際善隣協会	中国	太原市日中友好生態林造林
6	特定非営利活動法人 草炭緑化協会	中国	甘肅省武威市古浪県五道沟梁沙漠造林緑化事業
7	一般社団法人 日中青年経済文化交流協会	中国	環境保全のための日中青年共同モデル植林事業
8	金沢市日本中国友好協会	中国	甘肅省武威市民勤県砂漠化防止事業
9	特定非営利活動法人 地球緑化センター	中国	河北省豊寧満族自治県砂漠化防止事業
10	特定非営利活動法人 地球緑化センター	中国	内モンゴル自治区砂漠化防止事業
11	一般社団法人 日中国際交流協会	中国	2021 年度日中達拉特（ダラト）旗日中植樹造林機構合作事業
12	一般社団法人 日中国際交流協会	中国	2021 年度日中青年滄州市植樹造林国際合作事業
13	特定非営利活動法人 環境修復保全機構	カンボジア	カンボジア国コンボンチャム州の農山村域における環境修復を目指した植林事業
14	特定非営利活動法人 イカオ・アコ	フィリピン	気候変動を抑止するマングローブ林の再生事業（2021 年度）
15	特定非営利活動法人 地球の友と歩む会	インドネシア	インドネシア東スンバ県マングローブ再生のための植林事業

(2) 会館が主体となり実施する事業

中国における植林事業について、外務省と中国側との調整を経て、以下の 2 事業が決

定した。いずれも、現地における生態環境の保護及び防風固砂林の機能の改善を目的とするもので、2021年3月～2021年12月を実施期間とし、事業を開始した。

① 黒龍江省大慶市日中嫩江砂地防風固砂植林植樹事業

植林場所：大慶市讓胡路区銀浪造林地

植林面積：約80ヘクタール（1,200ムー）

中国側担当機関：中国国家林業・草原局対外協力プロジェクトセンター、  
黒龍江省林業・草原局、  
黒龍江省大慶市林業・草原局

<2020年度実施内容>

植林地の整地作業を実施した。

② 山東省荷澤市単県日中友好防砂治砂植林事業

植林場所：単県国有大砂河造林地と単県黄崗鎮

植林面積：約67ヘクタール（1,000ムー）

中国側担当機関：中国国家林業・草原局対外協力プロジェクトセンター、  
山東省自然資源庁、  
山東省荷澤市単県林業局

<2020年度実施内容>

- ・約55.6ヘクタールの整地及び約39.6ヘクタールの植付けを実施した。  
（樹種：シナトネリコ、ハコヤナギ、ココノエギリ、柳、トウキササゲ）
- ・起工式の開催（2021年3月17日）

在中国日本国大使館 志水史雄 特命全権公使、中国国家・林業草原局 国際合作司 孟憲林 司長をはじめ関係者や、2011年に日本の草の根無償資金協力で改築を行った、単県曹庄郷第一完全小学の児童らが参加し実施した。

なお、会館が主体となり実施する事業のうち、第三国での植林・植樹事業については、案件候補の調整中のため、2020年度の実施はなかった。

## 2. 日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業（日中両国以外の第三国及び地域の出身者の参加を含む）

2020年度は年間2,725名（中国2,275名、第三国・地域450名）の招へいを目標とし、日中青少年等の交流事業を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、出入国制限が解除されていない等の要因により、計画していたすべての招聘事業が中止となった。

## 〔Ⅱ〕収益事業

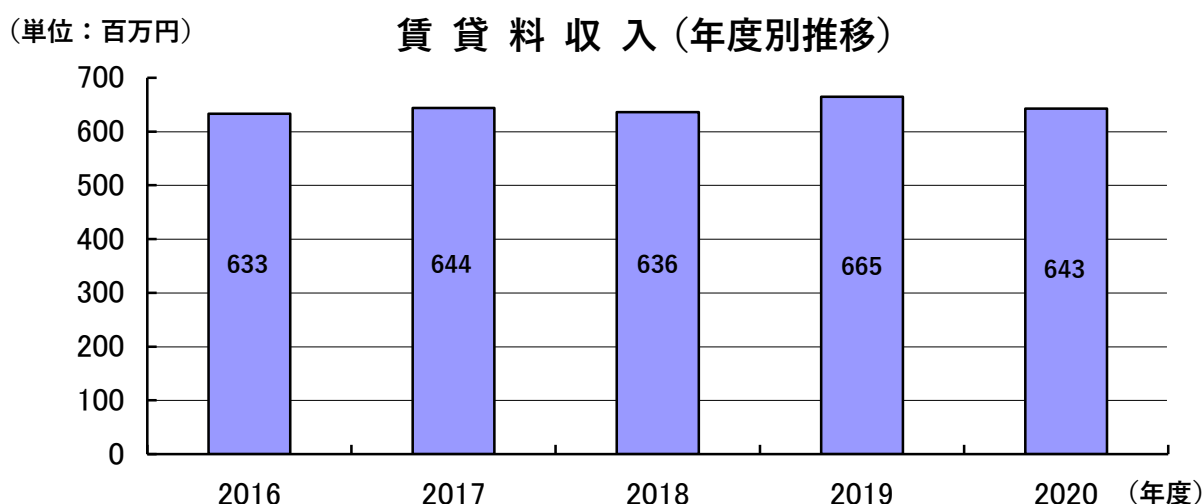
オフィスビル賃貸事業及びホテル運営業務：資産管理部

### 1. オフィスビル賃貸事業（後楽国際ビルディング）

2020年度の賃貸料収入は約643百万円であり、対前年度比で約22百万円の減少となった。

期中に大口テナントの退去（4フロア）が発生したが、期末に近い1月～3月にかけての事であり、2020年度としての収入は例年並みを確保する事が出来た。

期末時点のテナントの入居状況は「添付資料①テナント入退去状況一覧表（2021年3月末現在）」をご参照下さい。



※賃貸料収入には、テナント賃料の他、駐車場・駐輪所使用料、大ホール・会議室使用料等の収入が含まれている。

### 2. ホテル運営業務（後楽ガーデンホテル）

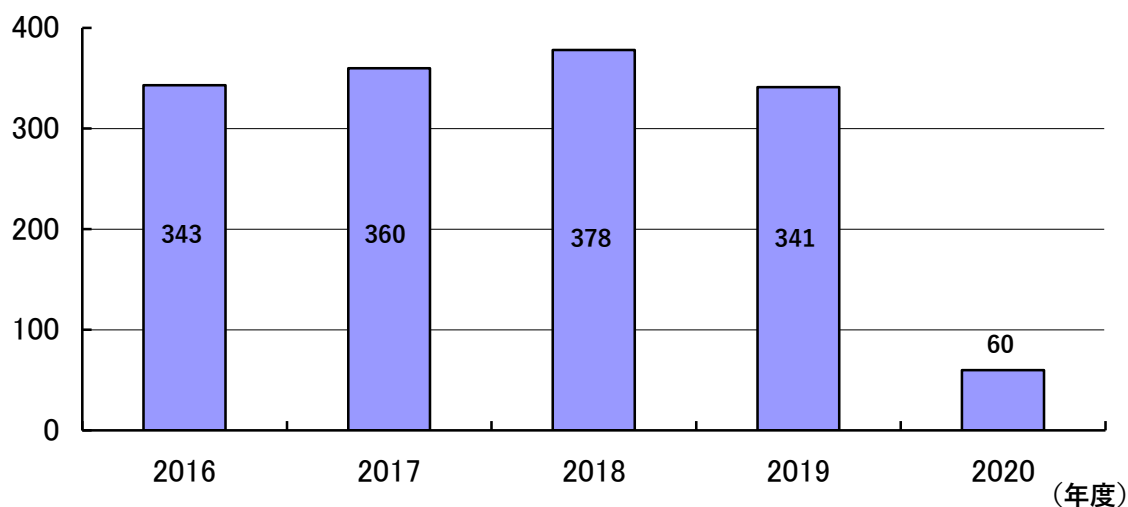
2020年度はコロナ禍に翻弄された年となった。

ホテル室料収益は約60百万円、客室稼働率は25.1%、客室平均単価は4,107円であり、かつてない落ち込みを記録。5月には緊急事態宣言を受けて1ヶ月間（4/20～5/31）の休業を余儀なくされる事となった。

それ以後も低調な成績を強いられ続けたが、部屋単価の調整や、積極的な営業努力によって徐々に売上・稼働を上げて行き、今年3月にはコロナ禍の始まった昨年2月以来久しぶりに売上を1千万円台に乗せることができた。

(単位：百万円)

### ホテル室料収益（年度別推移）



※ホテル室料収益には、ホテル客室（149室）の売上に加え、2～3階研修棟（38室）の売上も加算されている。

### 3. 設備投資計画

設備改修・修繕工事等は設備投資計画書に基づいて実施。

但し、コロナ禍による収益の落ち込みを憂慮し、当初の工事予定を縮小したが、大口テナントの退去が決まった事で、照明LED化やOAフロア更新等の資産工事を行う必要が生じた。

2020年度実績は、添付資料②「2020年度 資金調達及び設備投資計画書 執行状況(実績)」をご参照下さい。

期間中に実施した主な工事は下記の通り。

#### 「設備投資計画書の工事区分 工事項目／実施時期 工事金額（税抜）」

##### 1. 後楽ガーデンホテル

1-① 4F（18室）改修工事／11月 23,900千円

##### 2. 後楽国際ビルディング

2-① 二段駐車部品交換／10月 7,500千円

2-② 男女トイレ改修工事／9～10月 11,110千円

2-③ 退去テナント資産工事／10～3月 45,554千円

##### 3. 会館施設

3-② 緑風公館（内、中国理事室改修工事関連）／9～3月 6,557千円

5. 後楽寮及び研修棟

5-③ 後楽寮1F～3Fシャワー室改修工事／10月 9,880千円

6. 本館共通

6-② 発電機設備更新工事／9～3月 41,450千円

6-④ 電話交換機更新工事／10月 5,400千円

6-⑤ 駐車場リフト改修工事／12月 7,000千円



## 〔Ⅲ〕 その他の事業

### 1. 会員相互友好事業 : 日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を行うことで相互理解を深め日中双方の親睦の促進を目的として1989年7月発足(当初の会員は90名)。

#### ① 会員数

2021年3月末現在の会員数は62名、法人会員2社。個人会員は前年度末から4名減少(4名とも休会)、法人会員は同数だった。近年は会員の高齢化による会員数減少が進んでいるが、入会希望者は随時受け入れるといったスタンスで運営を継続。

#### ② 談話会・会員集会

月例の行事として、談話会・会員集会を原則として月1回開催。4月、8月、12月は、新年度、お盆休み、年末多忙などの理由で休会としている。通例として、談話会は後楽寮生を講師として招き専門分野における研究成果の一端を披露してもらう。大勢の前で話す経験や場を踏むことにより、大学院での研究発表・講評・口頭試問などへの準備として有効なため寮生も積極的であり、また会員からも様々なテーマの講義を聞けると好評である。

本年度の談話会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、年間を通して中止。また総会も中止となった。

#### ③ 友好バスハイク

年2回、会員と後楽寮生が都内あるいは近郊へ友好ハイキングに出かけている。主に貸切バスを利用し、朝から夕刻まで長時間会員と寮生が行動を共にするため、実りの多い交流・交歓の機会になっている。2020年度は春季、秋季とも新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、中止となった。

#### ④ 中国旅行

年に一度の会員対象の中国旅行は現地在住の元後楽寮生との交流など、後楽会ならではの活動を行っているが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送ることとなった。

#### ⑤ 会員向け文化講座

現在、月2回、第1、第3木曜日に実施している気功教室と中国画教室は、いずれも専門家の指導の下、長年続いている。

本年度の談話会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、4月～6月は中止、7月より再開したが、1～3月は緊急事態宣言もあり、中止となった。

#### ⑥ 観桜会

会館行事として、毎年桜のシーズンに観桜会を催し、中国大使館をはじめ、会館理事・

評議員、後楽会会員、後楽寮生を招待している。2020年度の観桜会は3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、中止となった。

2020年度後楽会活動（2020年4月～2021年3月）

日付	催事	参加者数
2020年 4月	春季友好バスハイク 中止	—
5月～11月	談話会・会員集会 中止	—
7月	中国旅行 中止	—
10月	秋季友好バスハイク 中止	—
11月	全体集会 後楽会会員総会（もみじの会） 中止	—
2021年 1月	新春談話会 中止	—
2月	談話会・会員集会 中止	—
3月	第30回観桜会 中止	—

## [IV] 法人の状況

### 1. 評議員会

開催日時・場所	議 事 事 項
臨時評議員会 2020年5月18日(月) 日中友好会館大ホール	目的：次期理事・監事・評議員の選任
定時評議員会 2020年6月22日(月) 日中友好会館大ホール	議題 第1号議案：令和元年度 事業報告の承認 (自平成31年4月1日至令和2年3月31日) 第2号議案：令和元年度 計算書類の承認 (自平成31年4月1日至令和2年3月31日) 第3号議案：次期中国理事の選任
書面決議 評議員会 2020年12月16日(水)	議題 第1号議案：令和2年度収支予算書の変更の承認  報告 (1)「日中植林・植樹国際連帯事業」における第三国関連事業の実施について (2)「日中植林・植樹国際連帯事業」関連規程の変更・制定 ①「日中植林・植樹国際連帯事業」助成実施規程(変更) ②「日中植林・植樹国際連帯事業」審査委員会規程(変更) ③「日中植林・植樹国際連帯事業」予備審査規程(新規) ④「日中植林・植樹国際連帯事業」日本と中国以外の第三国において(公財)日中友好会館が行う植林事業に係る他団体との協力内容に関する規程(新規) (3) 会館ガバナンス関連での内閣府からの指摘事項及び対応策
書面決議 評議員会 2020年12月18日(金)	議題 第1号議案：令和元年度決算書類修正の承認

<p>臨時評議員会 2021年3月25日(木) 日中友好会館大ホール</p>	<p>議題 第1号議案：2021年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び 設備投資計画書の承認 第2号議案：2021年度常勤役員報酬案の承認</p>
--	--

## 2. 理事会

開催日時・場所	議 事 事 項
第 36 回理事会 2020 年 6 月 5 日 (金) 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：令和元年度 事業報告・計算書類の承認 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日) 第 2 号議案：定時評議員会に提出する次期中国理事候補(議案)の決定 第 3 号議案：定時評議員会招集の議決 ・日時 令和 2 年 6 月 22 日 (月) 14 時～16 時 ・場所：日中友好会館 地下 1 階 大ホール ・議題：①令和元年度 事業報告 ②令和元年度 計算書類の承認 ③次期中国理事の選任 第 4 号議案：新事務局長 任命承認の件 報告： (1) 代表理事の職務の執行の状況 (平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月) (2) 定期預金残高の報告 (令和 2 年 3 月末現在)
臨時理事会 2020 年 6 月 30 日 (火) 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：会長、副会長の選定 第 2 号議案：代表理事、中国代表理事、業務執行理事の選定 第 3 号議案：名誉顧問、顧問の選任
第 37 回理事会 2020 年 9 月 11 日 (火) 日中友好会館会長室 一部参加者は Web にて参加	議題：日中学院就業規則の一部改訂 報告： (1) 内閣府への公益変更認定申請 (2) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (令和 2 年 4 月～令和 2 年 8 月) (3) 新型コロナ下における会館収益事業の現況 (4) 定期預金残高の報告 (令和 2 年 8 月末現在)
書面決議 理事会 2020 年 9 月 29 日 (火)	決議事項 内閣府への公益変更認定申請の件及び、それに伴う定款を始めとする規程(①～③)及び令和 2 年度事業書計画並びに収支予算書の変更 ①定款の変更(審査委員会) ②「日中植林・植樹国際連帯事業」助成実施規程の制定

<p>第 38 回理事会 2020 年 12 月 4 日（金） TKP 飯田橋ビジネスセンター</p>	<p>③「日中植林・植樹国際連帯事業」審査委員会規程の制定</p> <p>報告</p> <p>1. 内閣府への公益変更認定申請に係る報告事項</p> <p>(1) 会計検査院 令和元年度決算検査報告</p> <p>(2) 内閣府への公益変更認定申請・審査の進捗状況</p> <p>①「日中植林・植樹国際連帯事業」概要</p> <p>②「日中植林・植樹国際連帯事業」関連規程（案）等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成実施規程案(修正)</li> <li>・審査委員会規程案(修正)</li> <li>・審査委員会 審査委員(案)</li> <li>・予備審査規程案(新規)</li> </ul> <p>・日本と中国以外の第三国において(公財)日中友好会館が行う植林事業に係る他団体との協力内容に関する規程案(新規)</p> <p>③令和 2 年度収支予算書(修正)</p> <p>④令和 2 年度事業計画書(令和 2 年 9 月承認済み)</p> <p>⑤日中友好会館が「日中植林・植樹国際連帯事業」を実施することについて</p> <p>⑥定款（令和 2 年 9 月 30 日施行）</p> <p>⑦公益変更認定申請 今後の流れ</p> <p>(3) 会館ガバナンス関連での内閣府からの指摘事項及び対応策</p> <p>2. 定例の報告事項</p> <p>(1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (令和 2 年 9 月～令和 2 年 11 月)</p> <p>(2) 定期預金残高（令和 2 年 11 月末日現在）</p>
<p>書面決議 理事会 2020 年 12 月 14 日（月）</p>	<p>決議事項</p> <p>第 1 号議案：令和 2 年度収支予算書の変更</p> <p>第 2 号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」助成実施規程の変更</p> <p>第 3 号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」審査委員会規程の変更</p> <p>第 4 号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」予備審査規程の制定</p> <p>第 5 号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」日本と中国以外の第三国において(公財)日中友好会館が行う植林事業に係る他団体との協力内容に関する規程の制定</p>

	<p>第6号議案：評議員会の招集について</p> <p>(1) 開催日時及び場所：決議の省略の方法及び報告の省略の方法により行う。</p> <p>(2) 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決議事項：①令和2年度収支予算書の変更の承認</li> <li>・報告事項： <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「日中植林・植樹国際連帯事業」における第三国関連事業の実施について</li> <li>② 「日中植林・植樹国際連帯事業」関連規程の変更・制定</li> <li>③ 会館ガバナンス関連での内閣府からの指摘事項及び対応策</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 議案の概要：内閣府公益変更認定申請に伴う令和2年度収支予算書の変更（9月30日承認済みのものから変更）。</p> <p>第7号議案：事務局次長職の新設及びこれに伴う職員給与規程の改定</p> <p>第8号議案：荻原芽総合交流部長の事務局次長職への選任</p>
<p>書面決議 理事会</p> <p>2020年12月16日（水）</p>	<p>決議事項</p> <p>第1号議案：令和元年度決算書類修正の承認</p> <p>第2号議案：評議員会の招集について</p> <p>(1) 開催日時及び場所： 決議の省略の方法及び報告の省略の方法により行う。</p> <p>(2) 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決議事項：令和元年度決算書類修正の承認</li> </ul> <p>(3) 議案の概要：内閣府より指示のあった令和元年度決算書類のうち、貸借対照表内訳表の内容についての修正を承認願うもの</p>
<p>書面決議 理事会</p> <p>2020年12月22日（火）</p>	<p>議題</p> <p>第1号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」審査委員会 審査委員の選任</p>
<p>第39回理事会</p> <p>2021年3月4日（金）</p> <p>日中友好会館大ホール</p>	<p>議題</p> <p>第1号議案：2021年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資計画書の承認</p> <p>第2号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」令和2年度助成対象事業採択案及び助成金額内定案</p>

	<p>第 3 号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」諮問委員会規程案  第 4 号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」諮問委員案  第 5 号議案：「日中青少年交流事業」諮問委員会規程案  第 6 号議案：「日中青少年交流事業」諮問委員案  第 7 号議案：「文化事業」諮問委員会規程案  第 8 号議案：「文化事業」諮問委員案  第 9 号議案：後楽寮 寮費値上げの件  第 10 号議案：新総務・財務部長の承認の件  第 11 号議案：日中学院 新学院長の承認の件  第 12 号議案：臨時評議員会招集の議決</p> <p style="padding-left: 40px;">日時：2021 年 3 月 25 日（木） 14 時～16 時  場所：日中友好会館 地下 1 階 大ホール  議題：第 1 号議案：2021 年度事業計画書、収支予算書、  資金調達及び設備投資計画書の承認  第 2 号議案：2021 年度常勤役員報酬案の承認</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況  (2020 年 12 月～2021 年 2 月)</p> <p>(2) 2021 年度常勤役員報酬案  (3) 後楽寮 食費の値上げ  (4) 令和元年度計算書類 経過報告(第 36 回理事会報告事項)</p> <p style="padding-left: 20px;">① (ホテル) 売掛金について  ② 研修棟分の現金回収管理について</p>
--	---



### 3. 内閣府への公益変更認定申請：総務財務部・総合交流部

外務省の抛出を受け総合交流部で担当している「日中植林・植樹国際連帯事業」において、従来実施している日本国内での植樹と併せて行う日中両国の青少年等の交流事業(第三国・地域出身者の参加も含む)に加え、中国における植林事業及び第三国での植林・植樹事業を実施するにあたり、内閣府に対し、公益変更認定申請を行い、公益目的事業「(公5)植林・植樹事業」として認定を受けた。

#### 4. 在籍者 (2021年3月31日現在)

2021年3月31日時点

	役員		職員				嘱託		臨時職員		派遣職員		出向受入		計	
			管理職		非管理職											
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
役員・事務局長	3		1				1								5	
	3			1			1								4	1
総合交流部			3		9										12	
				3		9									0	12
留学生事業部			2		2		2				1				7	
			1	1	1	1	2				1				4	3
文化事業部					3		1								4	
						3	1							1	3	
資産管理部			2												2	
			1	1										1	1	
総務財務部			1		3						1				5	
			1		2	1					1			3	2	
その他															0	
														0		
計	3		9		17		4				2		0		35	
	3		3	6	3	14	4				2	0		13	22	

※嘱託 管理職 3名

	教員		職員		臨時職員		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
日中学院	59		5		0		64	
	13	46	2	3	0	0	15	49

## 5. 広報 : 広報チーム

組織横断型の広報チームが各部の意見をとりとまとめ、より有意義な広報を目指して活動。

当会館広報誌として毎月発行している「会館だより」は、新型コロナ禍で各部の活動に限られた中でも、実施された活動のタイムリーな報告掲載や、オンラインやメールによる交流内容や後楽寮への支援等の紹介を心掛け、前年同様に毎号ホームページにも掲載。年度初めの会長代行挨拶、年頭の理事長と中国代表理事の挨拶の掲載を継続。重点事業については特集記事を組み、実施結果をアピールした。また、後楽寮生によるコラムを継続し、寮生それぞれの留學生活の一端を紹介する企画とした。さらに、より見やすくアピールする広報誌を目指し、次年度の実施を目指しレイアウトや掲載内容の再検討を始めた。

会館ホームページは引き続き安定して運営。情報の見やすさ、使いやすさのアップのため、一部ページの見直しと更新を行い、情報の随時更新に努めた。コロナ禍により、ホームページを通じての発信内容は例年より増えた。文化事業部のフェイスブック、インスタグラムは年間の主要行事を中心に発信。

活動の総括として「日中友好会館年報」を令和2年7月に発行し、関係先に配布。

メールマガジンの発行は、毎月初旬に「会館だより」を主な内容として発行し、送付先拡大のため、各部の関係先を見直し追加した。

## 6. 人事異動（副部長以上）

小島義夫	事務局長	離任（2020年7月31日）
加藤啓一	事務局長兼総務・財務部長	昇格（2020年8月1日）
栃木牧子	総合交流部副部長	離任（2020年9月25日）
磯田さなえ	資産管理部部長	着任（2020年10月1日）
堀口努	総務・財務部副部長	異動（2020年11月5日）
荻原芽	事務局次長兼総合交流部長	昇格（2021年1月1日）
郭寧	総合交流部部長	離任（2021年2月25日）
英敏明	総務・財務部副部長	離任（2021年3月4日）